

【訃報】

赤崎 勇 名城大学終身教授・特別栄誉教授、 名古屋大学特別教授のご逝去について 学長・総長追悼の言葉

赤崎 勇（あかさき・いさむ）名城大学終身教授・特別栄誉教授、名古屋大学特別教授が4月1日午前、肺炎のため名古屋市の病院でご逝去されました。92歳でした。

葬儀につきましては、ご遺族の意向により近親者のみで執り行います。葬儀やご遺族の取材はお断りします。自宅は非公表です。

略歴 1929年1月30日、鹿児島県生まれ。1952年、京都大学理学部卒。名古屋大学教授などを経て1992年、名城大学理工学部教授に就任。「20世紀中には無理」と言われた青色LED(発光ダイオード)を幾多の困難を克服して1989年に発明。この功績で2014年、ノーベル物理学賞を天野浩名古屋大学教授らとともに受賞。2004年、名古屋大学特別教授。2010年、名城大学終身教授。2015年、名城大学特別栄誉教授。日本学士院会員。専門は半導体工学。



※赤崎先生の略歴や受賞歴は、右のサイトでご確認ください。



弔電につきましては、名城大学総務部気付でお送りください。

(名城大学WEBサイト)

<弔電のお送り先>

〒468-8502

愛知県名古屋市天白区塩釜口1丁目501番地

名城大学 総務部 TEL : 052-838-2007

赤崎先生のご逝去の報に接し、小原章裕名城大学学長および松尾清一東海国立大学機構長・名古屋大学総長からの追悼の言葉は以下の通りです。

2014年ノーベル物理学賞受賞者であり、本学の終身教授で特別栄誉教授である赤崎 勇先生の突然の訃報に接し、深い哀悼の意を表します。

赤崎先生は、20世紀後半、多くの研究者が挑戦し、成し遂げられなかった高効率青色LEDを1989年に世界で初めて発明され、世界を照らす新しい光を実現されました。1992年4月の本学理工学部教授着任後も、多くの研究者や学生とともに研究に取り組み、常に世界を先導し続けました。

また、赤崎先生のご研究内容は、ともにノーベル賞を受賞した名古屋大学教授で本学の特別栄誉教授である天野 浩先生、本学の赤崎研究室グループも参画するGaN(窒化ガリウム)研究コンソーシアムの体制の下、更なる省エネルギー社会の実現に向けて、発展を続けています。

長年にわたり本学の教育研究活動や学術への多大なご貢献に感謝申し上げますとともに、先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

令和3年4月2日
名城大学学長 小原章裕

赤崎 勇先生のご逝去の報に接し、心から哀悼の意を表します。

赤崎先生は「我ひとり荒れ野を行く」という不屈の研究者魂で、開発が不可能とされていた青色LEDを発明され、その研究成果は世界中の人々に新しい光として届けられ、ノーベル賞受賞につながりました。

あきらめなければ道は開ける、という赤崎先生の研究哲学は、名古屋大学赤崎賞の中に受け継がれ、新進気鋭の若手研究者の励みになっています。お別れすることは本当に残念ですが、我々大学人は赤崎先生の教えを胸に刻んで、人類社会の課題解決のために一層精進して参ります。

令和3年4月2日
東海国立大学機構長・名古屋大学総長 松尾清一